

2024 年度 第5回 公立大学法人埼玉県立大学教育研究審議会 議事録

1 開催日

2024 年 9 月 2 日(月)

2 開催方法

WEB 会議

3 参加者

星議長、磯田委員、伊藤委員、林委員、金村委員、東委員、常盤委員、濱口委員、田中委員、國澤委員、山崎委員、久保田委員、河村委員、廣渡委員、野中委員
オブザーバー参加：田口学長補佐兼専門職連携教育研修センター長、延原情報センター長、北畠地域連携センター長、滑川保健センター長

4 事務局

長岡副局長、濱口財務担当部長、酒井施設管理担当部長、小原教務・入試担当部長、今村学生・就職支援担当部長、中野研究・地域連携担当部長、篠原企画・情報担当部長

5 議事概要

【議事録確認】

議長から前回の議事録が提示され、内容について確認された。

【審議事項】

(1) シラバスチェックについて

資料に基づき、東高等教育開発センター長から説明され、案のとおり承認された。

- チェックリストを用いることで単年での改善は図れると思うが、中長期的な変化はどのように捉えていくのか。またシラバスがどのように変化したのかを、アウトカム指標等を用いて追跡していくことは考えているか。
 - ⇒ 今回シラバスチェックを行うにあたり、3つのシステム(CampusAvenue、WebClass、Box)を使うことにしており合理的ではない。中長期的には、それらの改修等を行いながらチェックしやすい方法を考えていきたい。また、昨年度の高等教育開発センターフォーラムで報告した内容であるが、学生からのアンケートに応えてシラバスを修正した科目とそうでない科目とで、授業評価・学修成果アンケートの結果が大きく異なっていた。学修成果が上がっているようなので、継続的に調査して関係を見ていく必要があると思っている。その他、シラバスと教育の質の改善の関係について、必要な視点を検討しながら長い目で見ていきたいと考えている。
- シラバスが修正されているということで学生の満足度等が上がっているのは良いことだと思う。一方で教員のピアレビューということもあり、自分のシラバスがどのように変わったかを可視化できれば良いと思うので、ご検討をいただきたい。

- スケジュールについて、前期と後期の科目とで授業評価・学修成果アンケートの結果が見られる期間が異なるため、その内容をどの程度シラバスに反映できるかに差がでる可能性があるが、どう考えているか。
 - ⇒ 特に後期がタイトなスケジュールとなっていることは承知しているが、短い期間の中で修正していただくほかないと考えている。実習など一部の授業は3月ギリギリまで実施している場合もあるため、可能な範囲でお願いするものとしたい。
- 学科によっては、教員の教育への取り組みを評価する側面として、学生のアンケート結果を踏まえてどの程度シラバスを修正しているかをエビデンスとして判断することが必要になってくるところもあるかと思う。そのため、前期と後期とで均質な情報量が整うようなスケジュールを今後も検討していただきたい。
 - ⇒ 事務局とも相談して、できる範囲で調整していきたい。
- 誰がシラバスチェックをするのかについて、資料に記載されていないがどうなっているか。
 - ⇒ 教務委員会を中心に行うと記載しているが、各学科・専攻・科目担当者会それぞれで実施しやすい形で行っていただければと考えている。はっきり明記はしていないが、科目責任者以外がチェックできるので、同じ科目を担当している他の担当教員も相互チェックは可能である。
- 単独で実施している科目については、各学科・専攻等で決める、ということか。
 - ⇒ その通りである。
- どのような実施体制を取るかを各学科・専攻等で考える、ということで良いか。
 - ⇒ その通りである。機械的に担当を決めるか、科目に関連する教員が担当するか、というのは各学科・専攻等の事情もあると思うので、それぞれで決めていただきたいという趣旨である。

(2)入試委員会規程及び大学院入試委員会規程の改正について

資料に基づき、小原教務・入試担当部長から説明され、案のとおり承認された。

(3)クイーンズランド大学 UQ カレッジとの協力協定書の締結について

資料に基づき、星学長から説明され、案のとおり承認された。

- 参加者の最低人数等はあるのか。
 - ⇒ 約15～20名程度となっている。金額は円安等の影響もあるが、現在は約50万円である。
- 協定内容を見るに、相互交流ではなく、本学の学生が海外留学を行うという内容で良いか。
 - ⇒ その通りである。語学研修に加えて、保健医療系のプログラムを組み込んだものである。こちらの要望に合わせてプログラムの改変を行っていただける内容となっている。

- 本研修に参加した学生は単位が得られるのか。
 - ⇒ 「海外英語研修」という共通科目に位置付けられたプログラムとなっており、参加者が確定し、プログラムが開催できとなった段階で、学生には「海外英語研修」を履修してもらい、プログラム修了証をもって単位を認定することとしている。

【報告事項】

(1)2024 年度学生調査(在学生)の結果について

資料に基づき、篠原企画・情報担当部長から報告された。

(2)埼玉県立大学 FACTBOOK について

資料に基づき、篠原企画・情報担当部長から報告された。